

「家族」宣言 当社のサービス理念

日吉から始まり60余年、住まいの提供と町づくりに貢献してきました。

これからは良い住まいを探す以上に良い暮らしを過ごす時間にフォーカスし、その暮らしを支えていく「家族」として、当社はあり続けたい。

その思いを「家族宣言」に込めました。

エス・ケーホーム株式会社

〒223-0061 横浜市港北区日吉 2-1-6 TEL.045-562-0123
URL <http://www.skhome.co.jp> facebook www.facebook.com/skhome.jp

今月の誕生花の中から

エンドウ



花言葉

「いつまでも

続く楽しみ」

ツタンカーメン王の棺からもエンドウの種が見つかっています

Top Message

2017年

トップシーズン

代表取締役 杉谷 拓紀



2017年、早くも賃貸トップシーズンが始まり、当社の入居率は昨年11月末時点の92%から95%まで上昇して参りました。昨年来より繁忙期に向けて、間取・素材の変更改装や設備の入れ替え、外壁補修等の大きな修繕工事と、賃料・礼金などの条件面に関して変更調整を行っていただいたことなど、新規入居者を獲得するための対策にご協力をいただきありがとうございます。

2月と3月が最大の山場となって参りますので、引き続き社員一同入居率を意識し、少しでもご満足していただけますようこの繁忙期、入居者獲得に邁進いたします。

米国では、1月20日トランプ政権がスタートし早くも1ヶ月弱となり、この先どのような動きがあるのでしょうか。TPPへの参画を取り下げたのを皮切りに、入国規制やメキシコとの国境問題などなど、連日報道されるとおりの物議がございませぬが、就任直後からの大統領令発令のスピードに関しては、方針に掲げただけのものはあると感じます。また為替相場について、円安がまだまだ続くのかなど、引き続き関連市況を見定めていく必要があると思います。

日本では、一部上場企業の東芝が大幅赤字での決算を迎えそうになっており、日経平均株価も安定しない状況が続いております。身近な不動産市況に関連し、年明け早々から銀行融資が厳しくなってきた印象を受けております。日銀のマイナス金利導入後は、新築の一戸建てやマンションが次々と建設され、住宅はさらに供給過多となっていくように予測できます。

賃貸の新築アパート・マンションについても、地域的な差はありますが全国平均的には供給過多であり、ほぼバブルの水準に近付いている状況で、一部ではもはやバブルの水準を越えているとの声もございませぬ。このような状況の中で、競合する他物件に勝っていくにはいろいろな角度からの創意工夫とスピードある対策行動が重要です。情報技術や製品の品質などインフラや物質面での進化と、人々の日常生活サイクルや将来への生活設計などのライフスタイルの変化といった両面にわたって状況変化を見極め、その時代やこの地域に暮らす人々のニーズを把握し、快適な住宅環境をタイムリーに提供していくことは欠かせませぬ。

多種多様になってきているライフスタイル。このような時代であるからこそ、狭い範囲のターゲットに絞ったマーケティングをもって、どのニーズに答えていくかといったところで、事業対策も随分と異なってきます。地元の不動産市況や顧客ニーズをくまなく拾い集めて、事業収支にタイムリーな良いご提案ができるよう、常に最新の情報に目を向けて参りたいと思います。トップシーズンも引き続き、よろしくお願い申し上げます。